

平成 22 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名	UTホールディングス株式会社
代 表 者	代表取締役社長 若山 陽一
コード番号	2146
問 合 せ 先	取締役管理部門長 島田 恭介
電 話 番 号	03(5447)1710

「IR 宣言」の決定に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 11 月 12 日開催の取締役会において、下記のとおり「IR 宣言」を定めることを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. IR 宣言の内容

UT ホールディングス IR 宣言

UT ホールディングスはここに IR 宣言をいたします。

- ・ IR 活動を経営の最重要項目のひとつとして位置づけます。
- ・ ジャスダック上場のパブリック企業として説明責任を果たし、常に明瞭な企業メッセージを発信いたします。
- ・ ビジネス環境や業績の好不調に関わらず、一貫して前向きな IR 活動を行います。
- ・ 個人投資家、機関投資家、また国内、海外を問わず、すべての市場関係者に対して公平かつタイムリーなディスクロージャーを行います。
- ・ 市場ならびに株主・投資家の皆さまとのゆるぎない信頼の確保・構築に努めます。

2. IR活動目標の内容

UTホールディングスのIR活動目標

UTホールディングスは、IR宣言に基づき、具体的なIR活動目標を定め、株主・投資家の皆さまとの長期的な信頼関係を構築し、企業価値の最大化を図ってまいります。以下の1～4は、2011年3月期下半期から当面において取り組む当社のIR活動目標となります。

1. 企業の認知度向上に努め、事業内容の理解促進に注力します。

- ✓ 個人投資家向け説明会を年4回以上開催します。
- ✓ アナリスト・機関投資家向け決算説明会を年4回開催します。
- ✓ 個人投資家向け説明会、アナリスト・機関投資家向け決算説明会で使用したIR資料や質疑応答の内容については、可能な限りウェブサイトに掲載して広く公開します。

2. 企業理念ならびに経営戦略を情熱を持ってお伝えいたします。

- ✓ 個人投資家向け説明会、アナリスト・機関投資家向け決算説明会については、すべて代表取締役社長の若山陽一が直接説明し、すべての質問に回答します。
- ✓ アナリスト・機関投資家との個別取材については、すべての取材依頼に対応します。個別取材においては、代表取締役社長の若山陽一またはIR担当の秋田一徳のいずれかが対応します。
- ✓ UTホールディングスの企業価値や事業戦略が明快に伝わるIRツールの提供を目指し、会社説明会や決算説明会で使用するIR資料の改革に取り組みます。

3. 中期経営計画に則った適性株価の形成を目指します。

- ✓ 中長期的な企業価値を向上するために、中期経営計画を策定し、経営の方向性を明示するとともに明確な業績目標を掲げます。
- ✓ 現時点においては、新中期経営計画を策定中であり、2011年3月期の決算発表までに業績目標を含めて発表させていただきます。また、新中期経営計画の中で、株主・投資家の皆さまへのコミットメントならびに適性株価についての考え方を明確にさせていただきます。
- ✓ 新中期経営計画を着実に達成する過程において、適性株価の形成を目指します。

4. 中長期のステークホルダーを増やし、株主満足度の向上に邁進します。

- ✓ 株主・投資家の皆さまの声を経営にダイレクトにフィードバックし、企業価値の向上に積極的につなげます。
- ✓ より多くの株主の皆さまにお越しいただけるよう、株主総会を土日に開催します。また、株主総会や株主懇親会では、基本的に寄せられる質問すべてに対し、議長を務める代表取締役社長の若山陽一が回答します。
- ✓ 株主・投資家の皆様に、対前期比のEPS成長率30%以上、配当性向30%以上をコミットいたします。

3. 「IR宣言」を定める背景について

当社は、IR活動を経営の重要項目の一つとして位置づけ、IR活動を積極的に実施してまいりました。しかしながら、株主・投資家の皆様に対し、現在の当社の状況が、十分に市場認知されていない状況にあると認識しております。

そこで、当社の過去における事業の低迷期の反省も踏まえ、IR活動を経営の最重要課題として改めて位置づけ、「IR宣言」として定めることにいたしました。

また、「IR宣言」を公表することにより、パブリック企業としての説明責任を果たし、常に明瞭な企業メッセージを発信することで、株主・投資家の皆様との長期的な信頼関係を構築し、企業価値の最大化を図りたいと考えております。

以上